

# タカワレポート

## 第63期 中間報告

平成20年 1月1日

平成20年 6月30日

70th  
Anniversary

 立川ブラインド工業株式会社





家庭に、企業に、都市の中に。  
次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。  
インテリア産業の一翼を担う企業として、  
これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本年5月30日、当社は創業70周年を迎えました。

これもひとえに、日頃よりご愛顧を頂いております皆様方のご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成20年6月30日をもって第63期(平成20年1月1日から平成20年12月31日まで)上半期が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

C O N T E N T S

経営者から皆様へ	2
営業の概況(連結)	3
グループ(連結会社)の事業展開	5
連結財務諸表(要旨)	7
単体財務諸表(要旨)	8
New Products	9
Topics	10
製品紹介	11
ショールームのご案内	12
会社の概要	13
株式情報	14
株式についてのご案内	

平成20年9月

## 営業の概況(連結)

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、原油や資材価格の高騰により企業収益は減少傾向にあり、雇用情勢は足踏み状態のなか個人消費も横ばい傾向で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、民間建築着工は減少傾向で、公共投資も依然低調に推移しており、新規住宅着工も改正建築基準法施行の影響は薄れているものの、景気の足踏みの影響などで住宅需要は低迷し、予断を許さない経営環境が続いております。

また、立体駐車場業界においては、都市部を中心に機械式駐車場の建築需要はあるものの、建築コストの増加など不安定要素が見受けられました。

減速機関連業界においては、設備投資の伸び悩むなか、外需の伸びに支えられ、産業機械関連を中心に需要環境は総じて堅調に推移しました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、販売価格の適正化や主に家庭用向け製品の市場浸透に注力してまいりました。

駐車場装置関連事業においては、主力製品であるパズルタワーを重点的に販促し、成長路線を見据えた営業力の強化と受注確保に注力してまいりました。

減速機関連事業においては、製品開発のための積極的な設備投資を行ったほか、販売価格の見直しや生産の効率化に取り組むなど、競争力の強化と収益改善に努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は、19,693百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益は554百万円(前年同期比30.3%減)、経常利益は619百万円(前年同期比26.0%減)、中間純利益は72百万円(前年同期比74.2%減)となりました。

事業の種類別セグメントごとの内容は次のとおりであります。

### ■ 室内外装品関連事業

昨年下半年から販売価格の適正化に取り組む一方、販売店に対する販売促進支援を進め、関係強化に努めてまいりました。

また、昨年リニューアルした家庭用タテ型ブラインド「ラインドレープ」やプリーツスクリーン「パルレ」などの販促に努めてまいりました。さらに、当社創業70周年に絡め、売上げ拡大に向けたキャンペーンを実施してまいりました。

しかしながら、改正建築基準法施行の影響による住宅需要の減少等で売上高は16,257百万円(前年同期比11.4%減)、営業利益は374百万円(前年同期比48.6%減)となりました。

### ■ 駐車場装置関連事業

主力製品であるパズルタワーの受注・新規完工が増加したほか、一部案件において、完工が当初計画より繰り上がったことや短納期改造・改修工事が増加したことにより、売上高は1,770百万円(前年同期比44.4%増)となりました。

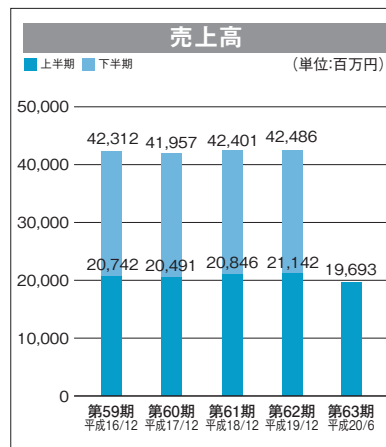
営業利益は、売上高の増加に加え、採算性を重視した受注・完工に注力したほか、経費抑制に努めた結果、168百万円(前年同期比141.2%増)となりました。

### ■ 減速機関連事業

お客様の多様な設計ニーズに適合した製品の提供やお客様のご要望を形にする製品開発などで差別化を推進したほか、首都圏で開催された展示会出展など、お客様のニーズの把握と製品認

知度の向上に努め、産業用機械向け販売を中心に積極的な営業活動を展開したことにより、売上高は1,665百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

営業利益は、原材料価格の高騰など厳しい事業環境もあり、12百万円(前年同期は2百万円の損失)



となりました。

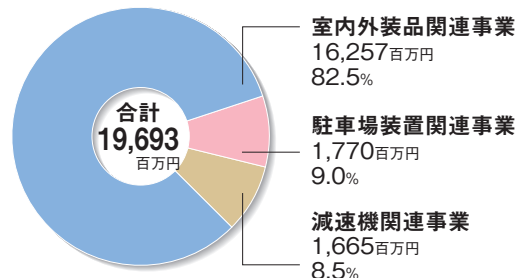
なお、当中間連結会計期間より、その他事業から減速機関連事業に名称を変更しております。事業実態により適した名称への変更であり、セグメント区分に変更はありません。前年同期比の数値は、前中間連結会計期間のその他事業との対比であります。

当期の見通しにつきましては、アメリカ経済の減速の影響や原材料の高騰などにより企業収益は停滞するものと思われ、当社グループを取り巻く環境も、住宅需要の伸び悩みや原材料価格の動向等が依然不透明で、厳しい状況が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、室内外装品関連事業においては、顧客満足向上を目指し、ファブリック製品を中心に製品リニューアルを行うとともに、一部製品価格の改定を行うなど収益向上に努めてまいります。また、サンプル帳の刷新などによりブランド力の強化にも取り組んでまいります。

駐車場装置関連事業においては、機械式駐車場の建築コスト低減に努めるとともに、短納期改造・改修工事の受注活動に注力してまいります。

### 連結セグメント別売上高構成比

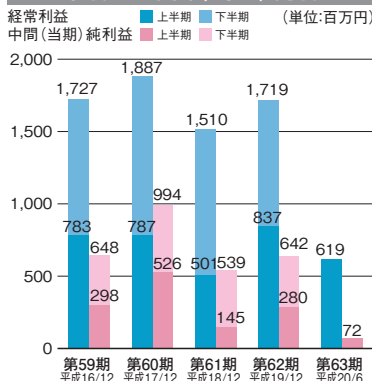


減速機関連事業においては、新製品の小型ギヤードモータなどの生産体制を整え、製品バリエーションを広げ、市場投入してまいります。

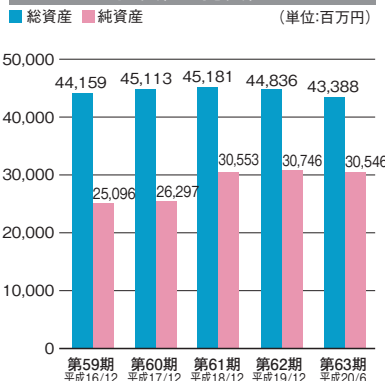
このほか、グループ全体の業務の効率化を推進し、収益基盤の強化に努めるとともに、継続して環境に配慮した製品の開発にも努めてまいります。

なお、当期の連結業績につきましては、売上高42,600百万円、営業利益1,300百万円、経常利益1,350百万円、当期純利益340百万円を見込んでおります。

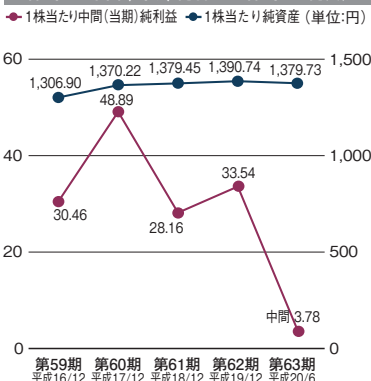
### 経常利益・中間(当期)純利益



### 総資産・純資産



### 1株当たり中間(当期)純利益・1株当たり純資産



# グループ(連結会社)の事業展開

## 経営の基本方針

当社グループは、建築物の開口部、とりわけ窓まわり製品を事業の核とする建築内装品の総合メーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術、動力伝導技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、顧客の皆様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、一般消費者、取引先ならびに株主の皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

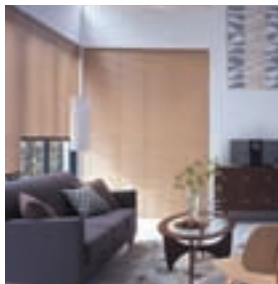
## 事業展開の課題

- ブラインド群等の主力製品の強化と継続的な新製品開発に傾注する。
- ホームユース市場における製品の拡充と市場浸透を図る。
- カーテンレール事業に関して、全般的なクオリティーの向上を推進する。
- 機械式立体駐車装置の製造・販売に加え、メンテナンス事業を強化する。
- コスト低減活動を推進し、工場等の体質革新を行い収益向上を図る。
- 製品の品質、安全性はもとより、多様化するニーズや高齢化社会への対応、環境への配慮など、継続的顧客満足を追求する。
- グループ全体の経営資源の効果的な投下と経営の迅速化を図る。

## 主な取扱製品

### 室内外装品関連事業

ブラインド、間仕切、カーテンレール、内装工事



### 駐車場装置関連事業

機械式立体駐車装置



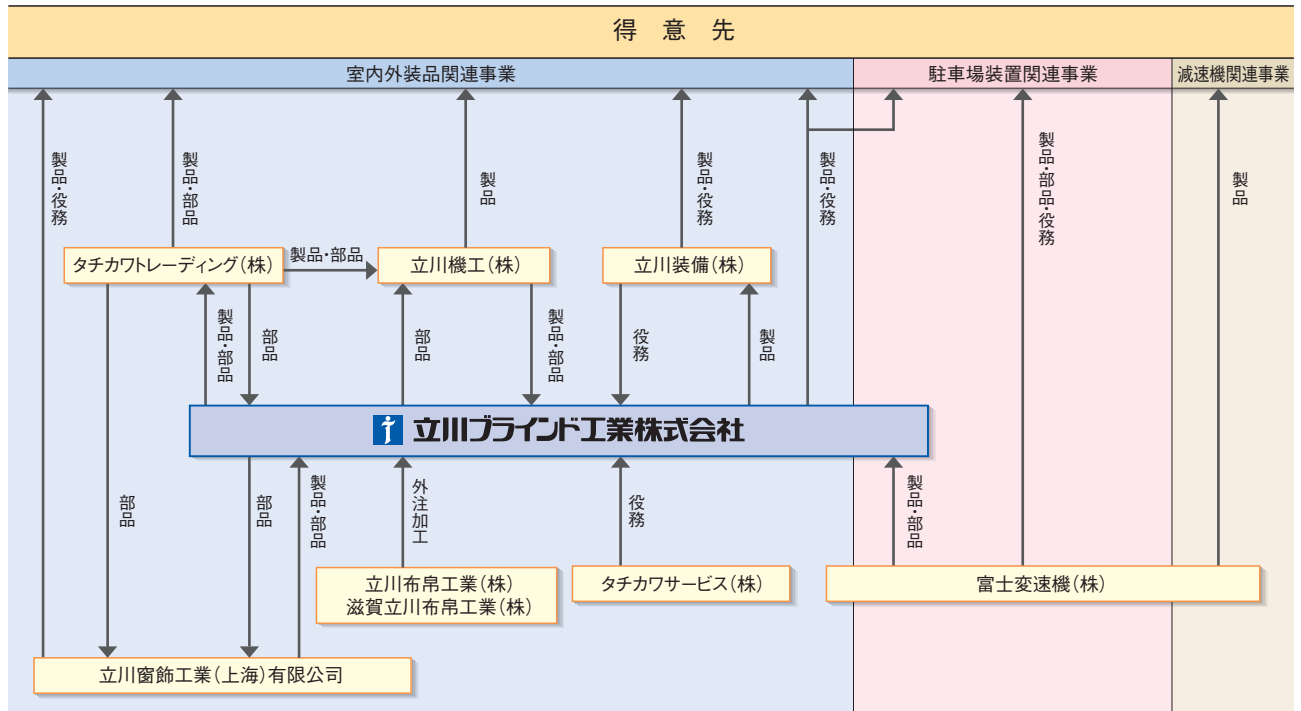
### 減速機関連事業

汎用減速機、特殊減速機



当社グループ(連結会社)は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

## 事業の系統図



(注) 富士変速機(株)は名古屋証券取引所に上場しております。

## 主なグループ会社

立川機工株式会社		立川装備株式会社		富士変速機株式会社	
本社所在地	千葉県山武市	本社所在地	東京都渋谷区	本社所在地	岐阜県岐阜市
資本金	3億円	資本金	3億円	資本金	25億750万円
事業内容	ブラインド、間仕切等の部品およびカーテンレールの製造販売	事業内容	ブラインド、間仕切等の据付および関連製品の販売	事業内容	変速機、減速機、立体駐車装置および間仕切の製造販売

# 連結財務諸表(要旨)

## 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	平成20年6月30日現在	平成19年6月30日現在	平成19年12月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	26,080,503	27,739,604	27,658,114
固定資産	17,308,160	17,539,815	17,178,632
資産合計	43,388,663	45,279,420	44,836,746
<b>負債の部</b>			
流動負債	9,192,920	10,860,314	10,450,790
固定負債	3,649,024	3,655,646	3,639,748
負債合計	12,841,945	14,515,960	14,090,538
<b>純資産の部</b>			
株主資本	26,137,026	25,991,381	26,256,489
資本金	4,475,000	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,304	4,395,279	4,395,307
利益剰余金	18,098,504	17,951,120	18,217,589
自己株式	△ 831,783	△ 830,018	△ 831,406
評価・換算差額等	274,084	618,258	366,452
少数株主持分	4,135,608	4,153,819	4,123,265
純資産合計	30,546,718	30,763,459	30,746,208
負債・純資産合計	43,388,663	45,279,420	44,836,746

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	平成20年1月1日から平成20年6月30日まで	平成19年1月1日から平成19年6月30日まで	平成19年1月1日から平成19年12月31日まで
売上高	19,693,744	21,142,489	42,486,977
売上原価	11,858,942	12,481,309	25,399,520
売上総利益	7,834,802	8,661,179	17,087,456
販売費及び一般管理費	7,280,298	7,865,885	15,453,579
営業利益	554,503	795,294	1,633,877
営業外収益	141,509	117,584	233,696
営業外費用	76,056	74,978	148,268
経常利益	619,956	837,900	1,719,305
特別利益	2,460	18,256	14,802
特別損失	41,756	64,200	145,992
税金等調整前中間(当期)純利益	580,660	791,955	1,588,115
法人税、住民税及び事業税	248,730	370,454	769,169
法人税等調整額	200,718	121,213	126,223
少数株主利益	58,864	20,277	50,519
中間(当期)純利益	72,346	280,011	642,203

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	平成20年1月1日から平成20年6月30日まで	平成19年1月1日から平成19年6月30日まで	平成19年1月1日から平成19年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,135,545	255,199	1,387,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 897,051	△ 135,129	△ 428,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 282,360	△ 116,231	△ 231,873
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5,487	4,865	△ 1,507
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△ 49,353	8,703	725,182
現金及び現金同等物の期首残高	6,733,938	6,008,755	6,008,755
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	6,684,584	6,017,459	6,733,938

## セグメント情報

(平成20年1月1日から平成20年6月30日まで) (単位：千円)

	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業
売上高	16,257,213	1,770,893	1,665,637
(前年同期比)	△ 11.4%	44.4%	6.6%
営業利益	374,464	168,004	12,034
(前年同期比)	△ 48.6%	141.2%	前年同期2百万円損失

## 中間連結株主資本等変動計算書

(平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年12月31日残高	4,475,000	4,395,307	18,217,589	△ 831,406	26,256,489	374,259	△ 121	△ 7,686	366,452	4,123,265	30,746,208
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△ 191,430		△ 191,430						△ 191,430
中間純利益			72,346		72,346						72,346
自己株式の取得				△ 424	△ 424						△ 424
自己株式の処分		△ 2		47	44						44
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△ 93,178	6	804	△ 92,367	12,342	△ 80,025
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△ 2	△ 119,084	△ 376	△ 119,463	△ 93,178	6	804	△ 92,367	12,342	△ 199,489
平成20年6月30日残高	4,475,000	4,395,304	18,098,504	△ 831,783	26,137,026	281,081	△ 114	△ 6,881	274,084	4,135,608	30,546,718

# 単体財務諸表(要旨)

## 中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成20年6月30日現在	平成19年6月30日現在	平成19年12月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	17,298,380	19,021,603	18,637,160
固定資産	14,048,521	14,083,954	13,899,748
資産合計	31,346,901	33,105,557	32,536,908
<b>負債の部</b>			
流動負債	7,454,016	8,965,683	8,478,451
固定負債	3,277,781	3,238,202	3,260,095
負債合計	10,731,798	12,203,885	11,738,546
<b>純資産の部</b>			
株主資本	20,371,260	20,389,480	20,477,158
資本金	4,475,000	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,304	4,395,279	4,395,307
利益剰余金	12,332,739	12,349,219	12,438,257
自己株式	△ 831,783	△ 830,018	△ 831,406
評価・換算差額等	243,842	512,192	321,203
純資産合計	20,615,103	20,901,672	20,798,361
負債・純資産合計	31,346,901	33,105,557	32,536,908

## 中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成20年1月1日から平成20年6月30日まで	平成19年1月1日から平成19年6月30日まで	平成19年1月1日から平成19年12月31日まで
売上高	15,364,812	17,470,586	34,813,484
売上原価	8,970,044	10,200,838	20,531,879
売上総利益	6,394,767	7,269,748	14,281,604
販売費及び一般管理費	6,219,759	6,830,568	13,393,459
営業利益	175,008	439,180	888,145
営業外収益	326,025	330,136	470,300
営業外費用	97,031	89,354	184,990
経常利益	404,003	679,962	1,173,455
特別利益	1,093	13,980	14,020
特別損失	37,122	53,696	116,437
税引前中間(当期)純利益	367,974	640,246	1,071,037
法人税、住民税及び事業税	81,807	202,846	462,356
法人税等調整額	200,254	109,528	96,046
中間(当期)純利益	85,912	327,871	512,634

## 中間株主資本等変動計算書 (平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等 その他の有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金				
平成19年12月31日残高	4,475,000	4,395,000	307	464,073	11,974,184	△ 831,406	20,477,158	321,203	20,798,361
中間会計期間中の変動額									
剰余金の配当					△ 191,430		△ 191,430		△ 191,430
中間純利益					85,912		85,912		85,912
自己株式の取得						△ 424	△ 424		△ 424
自己株式の処分				△ 2		47	44		44
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)								△ 77,360	△ 77,360
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△ 2	—	△ 105,518	△ 376	△ 105,897	△ 77,360	△ 183,258
平成20年6月30日残高	4,475,000	4,395,000	304	464,073	11,868,665	△ 831,783	20,371,260	243,842	20,615,103

## 「ラインドレープ ペアタイプ」を新発売

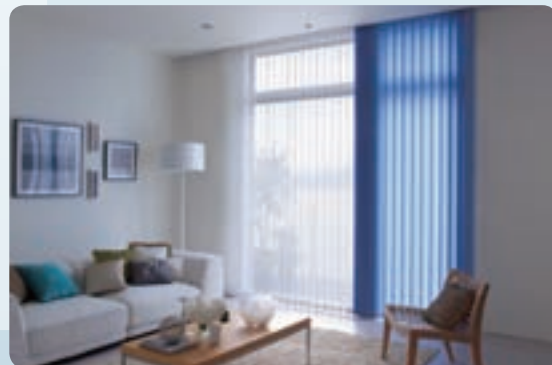
今年8月にタテ型ブラインド『ラインドレープ ペアタイプ』を新発売しました。

ラインドレープの特長である「シンプル・モダンなフォルム、調光機能、大開口での利便性」にカーテン感覚の“ドレープ&レース機能”を加えた新発想のブラインドで、生活スタイルに応じて光と視界を最適にコントロールすることができるインテリアです。

『ラインドレープ ペアタイプ』は、光を採り入れながら、気になる外からの視線を遮ることができる“アンサンプルスタイル”（生地はドレープ11柄73アイテム、同系色のレース13色）、昼と夜でレースとドレープの使い分けができる“ツーウェイスタイル”（生地はドレープ15柄106アイテム、レース2柄19色）があります。

今回の『ラインドレープ ペアタイプ』の追加により、1台でカーテン感覚の2つの機能を持つファブリック製品が揃いました。

（好評発売中：『ロールスクリーン ダブルタイプ』、『クレアス ローマンシェード ダブルタイプ』、『プリーツスクリーン ベルレ ペアタイプ』）



## 「クレアス」をリニューアル新発売

今年8月にファブリック製品の『クレアス』をリニューアル新発売しました。

『クレアス』は、「ローマンシェード」、「カーテン」、「パネルカーテン」の3製品で展開しています。

“上質×ベーシック”をコンセプトに、新たに生地を59柄173アイテム追加し、全5シリーズ91柄238アイテム（全アイテム「防炎」、「F<sup>15</sup>☆☆☆☆」認定製品）となりました。どんなスタイルにも合わせやすく、シックで上質な生地を多く取り揃え、高級ホテルのようなくつろぎの空間を演出します。

また、操作が軽く大きな窓に最適なチェーン式を採用した『ローマンシェード ダブルタイプ』や1階のお部屋でもプライバシーを守りながら光を採り入れることができる『ローマンシェード 上部採光タイプ』ほか、幅15cm・高さ30cmから製作可能な『ローマンシェード 小窓タイプ』を新発売（全て業界初）しました。

この“小窓タイプ”は、近年のモダン住宅において増加しているスリット窓、スクエア窓などに最適です。

新柄、新操作、新タイプを追加し、さらに磨きが掛かった上質なインテリアです。

## 株券電子化についてのお知らせ

平成21年1月に株券電子化が予定されている旨、既に新聞・テレビ等でご承知のことと思います。

株券をお手元(自宅・貸金庫等)にお持ちの場合や証券会社に保護預りしている場合は、株券電子化後、株式の売却に不都合が生ずるほか、名義書換が行われていない場合には、株主としての権利を失う恐れもあります。

ご所有の当社株式に関して、証券保管振替機構(以下、ほふり)へ預託されていない株主の方は、当該株式について証券会社を通じ、お早めにほふりへの預託をお願いします。

### 《株券をお手元(自宅・貸金庫等)にお持ちの方、証券会社に保護預りしている方の対応》

#### ① 本人名義の確認を!

- 株券の裏側の株主名が本人であることをご確認ください。(保護預りの方は証券会社にお問い合わせ下さい。)
- 贈与・譲渡等により名義書換が必要な場合や住所変更・改姓手続・株券紛失等の場合は、当社株主名簿管理人へご連絡下さい。

株主名簿管理人 『日本証券代行株式会社 代理人部』  
フリーダイヤル：0120-707-843

#### ② 早急に「ほふり」に預託を!

- お早めに証券会社を通じてほふりへ預託して下さい。

注)証券会社の中には、株券の受け入れを10月末を目処に締め切る場合もあり得るため、窓口の混雑も予想されますので、お早めな対応をお勧めします。



## 単元未満株式買取・買増手数料無料キャンペーン実施中のお知らせ

本年8月13日～10月31日までの間、通常「単元未満株式買取・買増制度」ご利用の際にご負担頂いております手数料について、無料とするキャンペーンを実施しておりますので、お知らせします。

### 《単元未満株式買取・買増制度とは》

ご所有の株式のうち、1単元(100株)に満たない株式については、市場での売買はできません。そこで、当社では単元未満株式買取・買増制度を導入しており、100株未満の株式を当社にて買取らせて頂く、またはご所有の株式と併せて100株となるよう株式をお売りすることができます。

例) 買取制度	60株 ご所有株式	⇒	当社にて市場価格 で買取ります
例) 買増制度	ご所有株式 株式をお売ります +	60株 40株	= 100株 (1単元) 単元株式(売買可能)

# 製品紹介

ヨコ型 ブラインド							
	シルキーアクア	シルキーカーテンアクア	シルキー	シルキーカーテン	出窓タイプ	ノンビスタタイプ	セブラートタイプ
変形タイプ	ファンシーブラインド	カラーコーディネートタイプ	木製ブラインドフォレティア	木製ブラインドフォレティアEco	アフタービート	モノコム25・35・50	VSブラック
				タテ型 ブラインド			
モノタッチ25・35	ツインティスL25・35タクスII	ルミスター50・80	エクステリアブラインドコントロール		ラインドレep木製タイプ	パーチカルブラインドM50・80・100	ローリー-ESV80・100
ファブリック 製品							
	ロールスクリーン	ロールスクリーン電動Q静音タイプ	パネルスクリーン	クレアスローマンシェード	クレアスパネルカーテン	クレアカーテン	経木スタイル
				天窓・ 傾斜窓用			
竹スタイル	プリーツスクリーン「ベルレ25」	プリーツスクリーン「ベルレ15」	ラインドレep		シルキー傾斜タイプ	シルキー天窓タイプ	ロールスクリーン傾斜窓タイプ
間仕切							
	パネル間仕切アリス下荷重タイプ	パネル間仕切アリスフラットガールタイプ	パネル間仕切アリス引戸仕様	アズウッドベアパネルタイプ	アズウッド連結パネルタイプ	アズウッドシングルパネルタイプ	アコウォール
					カーテン レール		
アコーデオンカーテン	アコーデオンスクリーン	スライディングドア100	スライディングドア50	スライディングドア50L		装飾カーテンレール	一般カーテンレール

この他にも様々な製品・タイプを取り揃えております。

# ショールームのご案内

G I N Z A

## 銀座

シ ョ ー ル ー ム

JR新橋駅の近く、銀座中央通り沿いにあるタチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。

東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル  
TEL (03) 3571-1373  
定休日 日曜・月曜・祝祭日  
営業時間 10:00~18:00



### ディスプレイ

タチカワブラインドがおすすめするアイテムやコーディネートのご紹介をしています。



### ショーイング

### コンサルティング

### テストイングウィンドウ

製品や生地の実物サンプルを豊富にご用意しています。また、テストイングウィンドウでは製品に太陽光を通したときの印象をご覧頂けます。お気軽にお声をおかけ下さい。

### ショールーム一覧

タチカワブラインドでは、インテリアや窓辺を楽しくセンスアップするためのアイテムを取り揃えて、いつでも皆様をお待ちしています。

<b>仙台ショールーム</b>	宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 TEL (022) 275-1311 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00	<b>大阪ショールーム*</b>	大阪府大阪市中央区南船場4-6-17 2F TEL (06) 6881-1781 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:30
<b>名古屋ショールーム</b>	愛知県名古屋市中区栄3-4-4 3F TEL (052) 532-5085 定休日 日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00	<b>高松ショールーム</b>	香川県高松市木太町六区2662-1 TEL (087) 837-2720 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
<b>金沢ショールーム</b>	石川県金沢市東力4-181 TEL (076) 291-1146 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~18:00		

\*大阪ショールームには常駐スタッフはおりませんので、ご案内・ご説明が必要の際は事前にご予約下さい。



# 株式情報

## 株式の状況 (平成20年6月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	5,887名

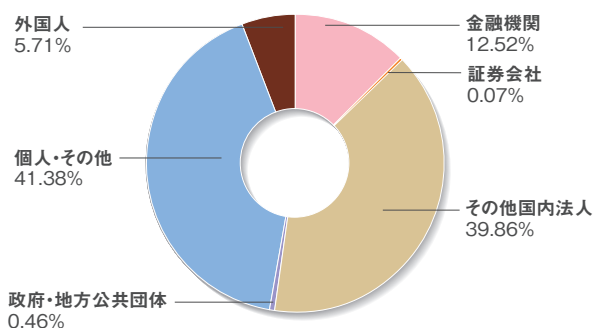
## 大株主および持株数(上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社立川恒産	4,117	21.59
タチカワブラインド取引先持株会	1,859	9.75
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.98
立川 溥	566	2.97
株式会社みずほコーポレート銀行	497	2.61
タチカワ社員持株会	482	2.53
三菱商事株式会社	470	2.47
株式会社りそな銀行	460	2.42
ロンバードオーディエダリエハンチアンドシー	423	2.22
日本生命保険相互会社	415	2.18

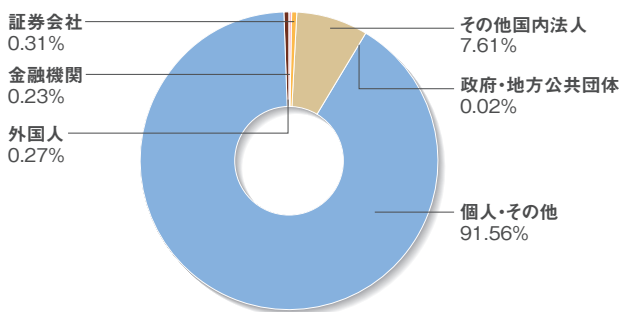
(注)1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

(注)2. 当社は自己株式1,621千株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

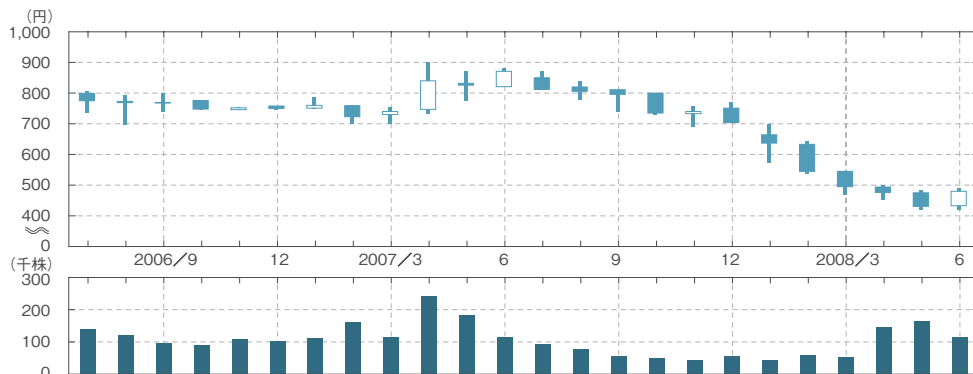
## 所有者別持株比率



## 所有者別株主比率



## 株価および出来高の推移



## 株式についてのご案内

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会 基準日	12月31日
剰余金配当 基準日	12月31日(期末配当) 6月30日(中間配当)
公告方法	電子公告によります。 公告掲載URL <a href="http://www.blind.co.jp/koukoku/">http://www.blind.co.jp/koukoku/</a> ※事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載致します。
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 代理人部
同取次所	日本証券代行株式会社各支店
単元株式数	100株
単元未満株式の買取 増請求受付場所	株主名簿管理人事務取扱場所および同取次所がお取扱い致します。

### 住所等の変更手続について

住所、氏名、届出印、配当金の振込口座などの変更は、日本証券代行(株) 代理人部へご連絡下さい。  
証券保管振替制度を利用され、お手元に株券がない方はお取引証券会社にお申し出下さい。

### 配当金の受取について

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。なお、払渡期間を経過したものの  
については、日本証券代行(株)本店および各支店でお取扱い致します。また、今後銀行振込をご希  
望の方は、日本証券代行(株) 代理人部へ「配当金振込指定書」をご請求下さい。

### (郵便物送付先) お問い合わせ先)

〒137-8650  
東京都江東区塩浜二丁目8番18号  
日本証券代行株式会社  
(住所変更等用紙のご請求)

☎ 0120-707-842 (自動音声応答サービス受付/24時間)

(その他のご照会)

☎ 0120-707-843 (オペレーター受付/平日9時～17時)

株式お手続き用紙のご請求をインターネットでも受付しております。

ホームページアドレス <http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

※「お手続き用紙のご請求」をご参照願います。

※証券保管振替制度をご利用の方は、お取引口座のある証券会社へご照会下さい。